



## オーマイパパー遊●機械／全自動シアター 懐かしのジャズが流れる中、不思議な少女が現れる。

経営していたミュージックホールがつぶれ、身投げを決意しゴミ捨て場に来て来た男。そして両親に捨てられたという孤独な少女。このふたりが運命的に出会ったことから始まる、ちょっとおかしく、そして切ない物語。少女は男をパパーと呼び、「どうしようもないこと」を、「どうしようもなくないこと」に変えようと歌を歌いだす。

「オーマイパパー たばこを片手にわたしを見つめていた  
オーマイパパー わたしの恋人  
今はもう帰らぬパパー  
すると、ふたりのまわりに不思議なことが起こります……」

遊●機械／全自動シアターの第16回公演は、ジャズをバックにしたミュージカル、ジャズカルともいうべきまったく新しいジャンル音楽劇である。前作「ライフレス」では、文学的ともいえるような手法で究極の少年世界を描いた高泉・白井コンビだが、今回は懐かしいジャズナンバーにのせて大人のためのエンターテイメントを繰り広げる。タイトルの「オーマイパパー」とは1948年にスイスで生まれた歌。日本では雪村いづみが歌ってヒットさせていることでも馴染みであろう。高泉淳子自身、幼いころによく聴いてとても思い入れが強かったというこの曲が今回の芝居の中でいきいきと蘇る。音楽監督にバイオリンの中西俊博、その他一流ジャズミュージシャンを加え、さらには元・夢の遊民社の向井薫も登場。忘れかけていた夢をもう一度見せてくれる舞台となりそうだ。

◎7月29日(木)～8月1日(日)  
近鉄小劇場 近鉄小劇場  
☎06・771・1009

# \*PLAYe.t.c\*



## NOISE FACTORY 京都一を誇るコミックバンドのワンマンライブ。

マジか、はたまた冗談か!? 結成以来、BIG BANや磔磔などを中心にライブを行い、そのかたわらテレビ・ラジオなどの出演活動にも積極的なノイズ・ファクトリー。'90年に京都の某ゲームセンターでメンバー同士が出会ったことから結成されたという、そもそものきっかけからして軽いノリの6人組だが、今や京都では一、二を争う動員数を誇る人気バンドとなった。昨年はついにL&Mミュージックカンパニーとアーティスト契約を結び、ファーストアルバム「天下一品」をリリース、今年の4月からはKBS京都ラジオの「痛感ノイズ・ファクトリー」もスタートしてスター街道を駆け登らんという勢いである。笑いの中にロックありともいえるそのコミックふりと、鋭いリリックをのせたハードなサウンドは日夜ファンを増殖中だ。現在はサウンド・コネクションに移籍、これからの大化けが期待される。今の彼らを見ておかなければ、あとで後悔すること確実だ。来る京都ミューズホールでのライブは是非チェックするように。

◎7月24日(土)・25日(日) 7:00PM～

◎前売1,800円 当日2,000円

ワンドリンク付

◎オフィス・サウンド・コネクション

☎075-771-6018

## ソニーミュージック エンタテインメント オーディション'93

可能性を試すチャンスがやって来た。

昨年の音楽業界は、近年稀に見るほどの活気を見せてミリオンヒットとなる曲が数多く登場した年でもあった。しかし厳密に言うとそのほとんどがヘテランアーティストの手によるものであり、現在のレコード業界にとって最も大きな課題は、いかに新しいセンスを持った新人を発掘するかということにある。実力さえあれば君にもチャンスは来る。昨年からスタートした「ソニーミュージックエンタテインメントオーディション」は、エンタテインメント性をより重視したものの試みとして高く評価されている。そして今年もその門を開いた。対象は15～22才までの男女でボーカリスト、ソロ、バンド等形態は不問。全国で予選を行い、決戦大会においてグランプリアーティストを選出し賞金として100万円を与える。またグランプリ受賞者以外から合格者も決定、合格者全員に奨学金として50万円が送られる。そしてもちろんこれらの受賞アーティストはソニー、エピックソニー等からデビューに向けてのバックアップを受けられるというわけだ。締め切りは近い。急いで。

◎応募方法 自演の歌を2～3曲収録したカセットテープ及びビデオテープ(歌詞付き)にプロフィール(住所、氏名、年齢、職業、電話番号、音楽歴、自己PR)と写真(最近の姿)を添えて左記の住所まで発送。  
◎締切 7月31日消印有効  
◎応募・連絡先 郵500 大阪市北区太崎寺町5-13東梅田三井ビル6F ☎06・363・1585

夫たち、妻たち

ウッティ・アレンが女子大生と!?  
現実とダブるアレンの最新作。

日本のマスコミにも私生活のスクヤンダルが取沙汰されてる話題の人、ウッティ・アレンの新作「夫たち、妻たち」がいよいよ公開される。

ウッティ・アレン扮する大学教授ゲイブと、ミラ・ファロー扮する美術書の出版社に勤めるジユティは、マンハッタンの知的カプルの典型のような夫婦。彼らには仲の良いジャックとサリー夫婦があり、その夜は恒例の4人での夕食会。ところがジャックとサリーが別れるという。親友夫婦の破局に、必要以上に取り乱すジユティ。ゲイブとジユティの結婚生活も、問題ナシというわけではなかった。ゲイブとジユティ、サリーとジャック。この2組の夫婦の結婚生活の行方は果たして?

\*

実生活でのミア・ファローとの破局を予言(予言)したような物語、として既に話題になっているこの作品。途中に夫たちの言い分、妻たちの言い分それぞれがインタビュ形式で挿入されていて、そのTVのドキュメンタリー番組のようなリアルさも相俟って、他人の家を覗き見るような野次馬気分さえ抱いてしまう。一見雑に思わせるカメラワークがその実、妙なりアリティを感じさせるのだ。果たして現実なのか虚構なのか、の区別がつかなくなってしまっただけである。いやはやますます冴えるウッティ・アレン、といったところ。

夫婦とは何か、結婚生活とは?この永遠のテーマをコミカルに、シニカルに描いたこの作品。結局何の問題もない関係なんてあり得ないことはわかっていながらも、男と女は4年でセックスに飽きぐるわ。という台詞に貴方は共感する?



◀「夫たち、妻たち」  
⑤上映中  
☆テアトル梅田2  
#06-369-1080

# GENM.

ヤング・ソウル・レベルズ

70SUKブラックのストリート・カルチャーを切り口にした異色作。

今最も注目の監督と言えはアイザック・ジュリアンだろう。スタイリッシュかつファンキーな映像で70Sロンドンの黒人文化を描いた彼の「ヤング・ソウル・レベルズ」は、90Sに繋がるロンドンの音楽シーンを知る上でも実に興味深い作品だ。バンク・ムーヴメントの陰に隠れがちな当時のUKブラック・カルチャーにスポットを当てたこの作品は、パーラメント、スライ&ザ・レボリューションナリス、オージェイズ、ファンカデリックなどのソウル・ミュージック、ディスコ・ミュージック、といった音楽を使い、懐古というよりもむしろ90Sロンドンのクラブ・シーンを思わせる新鮮さ。何しろ90Sのクラブ・ミュージックといえは多くがこの時代のソウル・ミュージックの多大な影響下にあつたりするから当然かもしれない。シャーデー、ソウルIIソウル、ネネ・チェリー、キャロン・ウィラーといったUKブラックといわれるアーティスト達の生まれる起源ともいえる当時のロンドンのブラック・カルチャー・シーン、ファッション、アート、そして音楽の熱気が伝わってくるのだ。

\*

77年の夏、ゲイの集まる夜の公園で一人の黒人青年TJが殺された事件から物語は始まる。海賊放送「ソウル・パトロール」のDJクリスとゲイのギヤズ、バンクス、ファシスト、スキンヘッドs etc. 様々な人種が溢れるロンドンのストリート・シーンの息使いもリアルに、女王在位25周年を祝う「クソツタレ25周年式典コンサート」でクリスはTJ殺人犯との対決に挑む...

クラブへ行くよりシーンを感ずる映画なのだ。



◀「ヤング・ソウル・レベルズ」⑤上映中〜2  
3日金9:20PM〜11:05PM  
7月26日月〜8月13日金  
8:50PM〜10:35PM 公  
めだシネマ・ヴェリテ  
#06-361-4310

## 嵐が丘

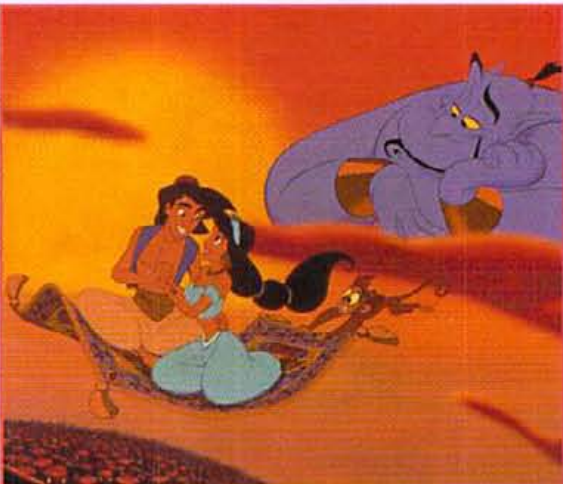
ジュリエット・ピノシュ次なる挑戦は、イギリスの古典的名作。



ひたむきで純粋、そして激しいほどに破壊的。そんな女を演じたら超一級のジュリエット・ピノシュ。「ダメージ」で官能の世界に身を投じる女を演じて新境地を開き、この次は何をやらかすかとファンならずとも気になっていたと云うのだが、早々と新作が到着した。今度はぐつと没いところで、イギリスの国民的小説ともいえる「嵐が丘」である。主人公キャサリンを演じるのがピノシュというのを聞いて、なるほど納得ノと思われる方もさそや多いかと思う。まさに彼女のはまり役であるキャサリン。情熱的で、エキセントリック。と同時に恐ろしく無垢な女。彼女は英国ヨークシャーの丘に館を構える農場主アーンショーの娘だが、父親が連れて来たジブシーのみなし子ヒースクリフとの出会いによって、その一生を運命に翻弄されることになる。2人は愛しあい、求めあい、憎みあう。そしてそれはお互いのみならず周囲の間まで次々と破壊させてゆくのだ。フランス人ながら英国の女性を演じることになったピノシュは、この役柄のためにトレーナーをつけ英語を猛特訓。見事イギリス発音をモノにするという並々ならぬ努力を見せている。一方相手役のヒースクリフを演じるラルフ・ファインズはこの作品がスクリーンデビュー。もともと英国は演劇畑の出身で、その美貌と野生味溢れるセクシーさは故ローレンス・オリビエのヒースクリフを凌ぐともいわれている期待のホープだ。この2人を中心に、愛が引き起こした悲劇は彼らの次の世代まで引き継がれてゆく。2時間弱という短さながら、今まで幾つか作られた「嵐が丘」の中で最も原作を忠実になぞっているという評価が高い。2人の愛の物語だけで終わらせず、ふたつの家をめぐる歴史として完成されているのだ。数十年にも渡る長い物語をこれだけわかりやすく、簡潔にまとめることは容易ではなかっただろう。原作を読んでいるとそのへんがより理解できる。英国の広大で厳しい自然をバックに、坂本龍一の印象深いメロディが全編に響きわたる。本のページをめくるまじりに、腰をすえてじゅくじゅくと見たい一作だ。



8月テアトル橋田にて公開予定。



8月上旬東宝公衆にて公開予定。

## アラジン

この夏、最大の目玉といえばこれ。スクリーンに広がるディズニーワールド。

アニメーション映画史上初のアカデミー作品賞ノミネートという快挙を成し遂げた「美女と野獣」から1年。ディズニー映画はさらにその完成度を高め最新作「アラジン」を作り上げた。昨年末に全米公開されるやスマッシュヒット。「JFK」「ホームアローン2」などを抑え全米興業収益第1位(240億円)で堂々、翌年のNo.1に輝いた作品だ。ディズニーお子様向けという考えも今は昔。文句なしに面白い。ストーリーはいったって単純明快だ。貧しい少年アラジンが美しいプリンセスに一目惚れ。3つの願いを叶える魔法のランプを手に入れたことから数々の冒険を経て、本当の愛と勇気に出会うまでのロマンチックアドベンチャーだ。「それなら知ってる」などと言っながら、ディズニー映画特有の色彩の美しさとなめらかな動きに加え、思もつかせぬハイスピードな展開はまばたきするのにも惜しいほど。何故ならディズニー独自のアニメ技術はCGを有効的に使うことによってさらにグレートアップ。迫力の立体感を実際に目にしてこそ納得モノだ。スクリーン狭しと駆け回るキャラクターたちもイキイキとしている。特筆すべきは何といってもランプの魔人ジーニー。ランプをこすればいつでもハイテンションで登場、この愛嬌たっぷりの大男の声を演じるのがロビン・ウィリアムスだ。口を開けばジャック・ニコルソン、アーノルド・シュワルツネッガーの物マネやギャグで笑わせるあたりはもうウィリアムスの独壇場。吹替えてないことに大いに感謝したい。この演技で彼はゴールデングローブ特別賞を受賞している。そしてきわめつけの音楽はディズニー映画の顔ともいわれるアラン・メンケン。ロマンティックなシーンに流れる「A Whole New World」はヒーロー・プリンセスとレジーナ・ベルのデュエットでこちらも全米No.1ヒット。いかにも「美女と野獣」をそのままそったこの流れには脱帽である。おそらく今回も映画館の客席はカッパルで埋めつくされることであろう。大人も魅せられるディズニーは、今や恋人たちのブランドとなりつつあるのだ。







夢を追い続け、歩んできた道のりが、  
ウエディングドレスの伝統を築き上げた  
……クラウディア

ITEM  
皇女 HALSTON NEW YORK CHRISTIAN AUJARD PARIS

JEPRE ROLAND KLEIN yukiko hanai

BLANCHEUR yukiko hanai Karaku Hyashi

COURT D'ORS MARCO VALENTINO kansai wedding Adam & Eve

株式会社 クラウディア

本社 〒615 京都市右京区西院高田町34番地  
TEL (075) 315-2345 FAX (075) 321-2500



8月17日(火) 8:30PM / 大阪城ホール  
4120円 / シュー・大坂 06-6344-7100

# LÄ-PPISCH

## 「夏の稲妻」に回す。

来る8月17日に初のワンマンによる大阪城ホール・コンサート「夏の稲妻」BUARINING・SUMMER・LIVE・SPECIAL'03」が決定したレビッシュ。年末の東京では恒例となった「夏の稲妻」の夏バージョンともいえるこのスペシャル・ライブは、何と約3時間という特大コンサート。レビッシュにしては少なめだった昨年とは違い、本領発揮といわんばかりに今年もガンガンとコンサートをやっていくという彼らの意気込みが感じられるビッグ・イベントだ。この大阪城ホールでの大コンサートのためのキャンペーンで来阪中のVROMAGUMI氏がシークレットDJとして京都のクラブ、メトロに出演。ファンはもちろん、知らずに

やってきた一般オーディエンスも巻き込んだの大盛り上がりDJプレイを披露。ドナルド・フェイゲンで決まってきたかと思えば、ハイジ・ファンタジーやアダム・アントといった懐かしきニューウェイヴでポップに、スペシャルAKKAやフィッシュ・ボーン辺りのらしいグルーヴをキメたかと思いきやノイズまでやってくれるというパンキークな選曲にフロアの熱気は確実に5度以上昇っていたはずだ。

「自分達のテンションが上がって、お客さんもそれを求めていたら、非常に長いライブも考えられますね。多分のライブと比べものにならないくらい」とMAGUMI氏が語る8月の城ホールの熱気は、この分だと倍にはなるだろう。

か。秋には待望のニュー・アルバムもリリースされるという。今はまだ目撃情報もない状況らしいが、この「夏の稲妻」コンサートでは新曲も何曲かプレイされることになるだろう。もちろんニュー・アルバムが発売されたに伴うツアーも行われる予定だが、城ホールでのコンサートは通常のレビッシュのツアー内容とは全く異なったものになるらしい。で、その内容とは？とじっくり質問してみたが、

「実は具体的にはまだ何も決めてない(笑)。もちろん一回一回のライブは一生懸命やってくるけど、ライブは水物だから(笑)」とか、期待して待ってほしい。きっと楽しませてくれるに違いない。

写真：武蔵野子・協力：メトロ、由：ニューリック、ピクチャー

METROにてDJするMAGUMI



「カーズ」林出資 3,000円(税込) SMGピクチャ



コンセプトというのがあったんです。そしてそのコンセプトに従って1st、2nd、そして今回のアルバムをレコーディングしました。

そんなクールさを持つ彼も、ほぼ一発録りというスタイルでレコーディングされたミニアルバム「V.O.X」の録音時は「まっすぐにライブみたいに緊張して、息を吸うにも震えるほどだった」と語る。そしてこのコンセプト・シリーズの最後を飾る案件の中には、そんな彼の様々な表情が詰まっているのである。

# WATCH the NEWS

## PEARL BROS. パール兄弟 INTERVIEW \*

ドライブで近未来なイメージとユニークな歌詞が魅力のパール兄弟。4月に新作「公園へ行こう」がリリースされ、既に手に入れた方も多いたろう。その中の「サ・タ・デー・ナイトはin theパーク」が「サ・タ・デー・ナイトはin theパーク」と、曜日違いでシングル・カット。フジTV系で放映中の「大石恵三」(毎週日曜10:30PM~11:00PM)のオープニングテーマ曲でもある。実は土曜、日曜だけでなく、7曜日分ある!?という説もあるこの曲について、また新作「公園へ行こう」について、V.Oのサエキけんぞう氏にインタビュー。ミュージシャンであり、歯科医で、作詞家、俳優、執筆家と多彩な顔を持つサエキ氏に質問/た。

——サエキさんは音楽をする人だったり、歯医者さんだったり、その他色々それぞれが極端ですよ。その切り替えを楽しんでいるところありますか? 「まず表面的になさって頂くと切り替えが激しくて何やってるかわかんないところがあるかもしれないですけど、もう少し僕というものに一層皮を削り込んでいくと、ちょっとドン臭い部分でのごでくるんですよ。ただ単に成り行きってこともひとつにあるんですけども、単に尻尾を切れないというか後ろ髪ひかれる部分をどうにも残しちゃう体質というか、その結果こういう風になつてるとかあると思うんです。でなかつたらごく初期の段階で歯医者だけになったり、歯医者にはなつたけど音楽のみに絞るとかがあったと思

**公園に行く、  
そして視点を  
変えれば  
面白いものを  
発見する。**

写真/ハリイ中西  
取材文/甲川加寿子  
協力/ワーナーミュージック・ジャパン



◆「公園へ行こう」パール兄弟/2,900円(税込)/ワーナーミュージック・ジャパン



ます。それができなかった。というかが断ち切っちゃうのが好きじゃないというか、断ち切らない中で書えるのが好きというか。今回のアルバムなんかではそういう部分がある意味ですごく出てるかもしれないですね。町の中という切り離せないところを見つめ続けた結果出た、みたいな部分が結構あるし。10年位前の暴走族のことが避つてくると今ではレディース暴走族でいっぱいになってるとか。昨日レディースを発見したから歌にしたとか、そういうんじゃないんですね。ずっと身体の中に残ってる青春の記憶みたいなものがたまたま出てくる、みたいなものです。

——「公園へ行こう」では、そういう人達に一步踏み入れてみた、という「角度を変えて」とか居場所をちょっとだけ変えれば、そういう人達と友達になれるし。話を聞いてみるとそんなに自分と変わらないっていうか。同じ部分も違う部分もある。だけど頑なにはなっていないっていうか。表面的にはものすごく頑なに思えるっていうレディース暴走族の人とか。そういうのって面白いですよ。結構みんな話わらない人達でもないんですけどね。便宜的に一応とり敢えずテクノやってますジュリアナ行ってます主婦やってます、しかして私はアミたいなね。——そういうことを絶えず考えさせられる立場ですよ。サエキさんで。

「そうなんです。という人達に聴いてもらうかってので詞も変わってきちゃうし」